



有志竟成

浜松市立北浜中学校

学校だより

令和2年12月24日

校訓：志を強くもってことにあたれば竟には成しとげられる

いろいろなことがあった2学期ですが、本日終業式を無事に終えることができました。1学期の休校期間の影響もあり、例年より長くなった2学期ですが、子ども達や先生方の頑張りで、授業の進捗については、ほぼ例年と同様な状況で今日を迎えることができました。また、行事についても「可能な限りの対応をしながら、教育活動を進める」という考えのもと、様々な工夫をする中で実施できたことに心から感謝致します。生徒同士、生徒と教師が気持ちを一つに取り組みむことで、互いの絆や北浜中学校の伝統を育み、つなぐことができたのではないかなと感じています。保護者や地域の皆様方には、学校参観の自粛をはじめ様々な学校の対応に御理解・御協力をいただきありがとうございました。新年を迎える3学期も引き続きよろしくお願い致します。

北浜中 渥美竜三

2学期終業式 子ども達に伝えたこと（抜粋）

今3人の学年の代表者が「2学期の反省と冬休みに向けて」ということで、話をしてくれました。自分自身をしっかりと見つめ、自身の状況を認識した上で、次に（これから）どうしていくのかをしっかりとみんなの前で宣言していました。自分の思いや考えをみんなの前で宣言することは、これからの自分の行動を決定づける大きなきっかけになるように思います。みなさんも、個々で、また学級で、部活動で、このような振り返りをする（している）のではないのでしょうか。振り返りは、よくなかったことだけでなく、よかったことも認識すること、そして、それらをただ挙げるだけでなく、だから、次はどうするかまで具体的にイメージすること。さらに、そのことを本当に実践すること。この繰り返しが、自身やチームを成長させる振り返りを含めた1つの流れであるように思います。そのことを誰かに宣言することは、「口だけではない自分への挑戦（チャレンジ）」といえるかもしれません。

今更ながらひとつ質問です。「今、皆さんがマスクをするのは誰のためですか？」

① 飛沫を吸い込む側がマスクを着用

② 飛沫を出す側がマスクを着用

③ 両方がマスクを着用



飛沫47%カット



飛沫70%以上カット



飛沫75%カット
(相乗効果あり)

<内閣官房 東大医科学研究所のデータより> ※不織布（ふしょくふ）マスク
マスクの着用は、周りの人からの飛沫をカットする割合より、自分から出る飛沫をカットする割合の方が高いということがわかります。マスクの着用は、自分のためでもあります。それ以上に周囲の人たちへの思いやり（配慮）だと言えるのではないのでしょうか。今、会話時でのマスク着用は、お互いに徹底するべきことだと思います。……